

＜ 家 庭 ＞科 学習シラバス

科 目		家庭基礎	学年・コース	1 年生	単位数	2 単位	教科書	未来へつなぐ家庭基礎 3 6 5 (教育図書)		
学習の到達目標			・生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。 ・様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。							
評価の 観 点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の 内 容	人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。			生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。			さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を目指して実践しようとしている。			
評価の 方 法	・実習作品やその過程・態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査			・学習活動における発言内容や表現方法 ・ノート、プリント類 ・定期考査			・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント類			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
1 学 期	4	A編 第 1 章 生涯の生活設計 1		・各ライフステージの特徴と課題を理解する。				○	○	
		第 2 章 青年期の自立と家族・家庭		・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考える。 ・家族・家庭とは何かを様々な観点から考えて、自分なりの価値観を築く。				○	○	
	5	第 3 章 子どもの生活と保育		・子どもを生み育てることの意義を学ぶ。 ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。				○	○	
		6	第 4 章 高齢期の生活と福祉		・人生の一時期として高齢期を捉え、高齢期について考える。 ・わが国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する。				○	○
	第 5 章 共生社会と福祉		・共生社会の重要性について理解する。				○	○		
	7	D編 ホームプロジェクトに取り組もう！		・生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、実践する。					○	○
2 学 期	8・9	B編 第 2 章 衣生活と健康		・人間の生活と衣服のかかわり、衣服の主な機能について理解する。 ・衣服の表示について理解し、日常生活の中での活用について考える。 ・被服製作実習				○	○	○
		第 3 章 住生活と住環境		・人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する。				○		○
	11	C編 第 1 章 生活における経済の計画		・家計のしくみについて理解し、家計は社会と密接にかかわっていることを知る。				○		
		第 2 章 消費生活と意思決定		・消費者の権利と責任について理解し、生活情報を活用するために必要なリテラシーを身に付ける。				○	○	
	12									
3 学 期	1	B編 第 1 章 食生活と健康		・食事と健康とのかかわりや、食事の役割について理解する。 ・食品に含まれる栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について理解する。 ・調理実習				○	○	
								○		○
	2	C編 第 3 章 持続可能なライフスタイルと環境		・環境問題と、持続可能な社会を実現するための取組について理解する。				○	○	
		3								
学習のポイント		・欠席や忘れ物をせず、授業に真剣に取り組む。 ・意欲的に実習に取り組み、提出物は期限を守って提出する。								